

## 第5学年 音楽科学習指導案

○組 計40人  
指導者 ○○ ○○

- 1 題材 合唱のひびき  
教材 「星の世界」 川路柳虹作詞 コンバース作曲（本時主教材）  
子供たちが選択した合唱曲  
◎滝廉太郎の歌曲

### 2 題材について

#### (1) 題材の位置とねらい

これまでに子供たちは、4年生題材「みんなで合わせて」で、二部合唱曲（パートナーソングや部分二部合唱曲）で歌う活動を通して、パートの音量のバランスに気を付けて表現したり、旋律の重なり合う響きを感じ取って表現したりする楽しさを味わってきている。さらに子供たちは、より多くの声部を加えた合唱をしたいという欲求が高まってきている。

そこで、ここでは、音程に気を付け、他のパートの歌声を聴き合いながら三部合唱をしたり、自分たちで選択した合唱曲を歌ったり、さまざまな形態の合唱曲を聴いたりする活動を通して、和声の響きを感じ取って合唱する能力を高めるとともに、声の重なり合う響きに関心を持ち、進んで合唱をしようとする意欲や、音量のバランスを工夫したり曲想を生かしたりして合唱表現を追求する能力を高めることをねらいとして、本題材「合唱のひびき」を設定した。

ここでの学習は、曲想を生かせるように歌唱や合唱奏の演奏形態を工夫する能力を高める6年生題材「豊かなひびきの歌声」の学習へと発展していくことになる。

#### (2) 指導の基本的な立場

和声の響きを感じ取って合唱する能力を高めるためには、単音に三度上や五度上の歌声を重ねていく二声による和音唱や、三部合唱によるI-IV-I-V-Iのカデンツに取り組みさせることにより、自分の歌っている声と重なっている声が響き合っている美しさを味わわせることが効果的である。特にこの期の子供たちには、自分たちの合唱が響き合っているかを相互鑑賞や録音によって振り返らせ、さらに練り上げられた合唱表現をめざす楽しさを味わえるようにすることが大切である。

具体的には、まず「星の世界」を取り上げる。この曲は讃美歌で、旋律はなめらかで美しく、歌詞は秋の星空、無限に広がる宇宙の神秘を歌っている。そこで、旋律を「星の光」や「宇宙の広さ」などの歌詞と結び付け、夜空のイメージを膨らませながら歌う楽しさを味わえるようにする。また、三部合唱は常に和音の構成音により進んでいくので、自分の歌っている声と重なっている声の響き合いを感じ取りやすい。そこで、へ長調のカデンツを取り入れながら、声の重なり響き合っていることの楽しさを味わえるようにする。

次に、子供たちの選択した合唱曲に取り組みさせる。6人から9人の少人数のグループを作り、自分たちで主体的に学習を進められるようにする。曲については、これまでの学習経験から、二部合唱や簡単な三部合唱で、子供たちが興味をもつようなものを選択することができる。そこで、子供たちがこれまでの学習を生かして意欲的に学習に取り組み、自分たちで表現を高めていく喜びを味わえるようにする。

さらに、滝廉太郎の曲を取り上げる。ここで取り上げる「荒城の月」は女声合唱と混声合唱で、「箱根八里」は男声合唱で聴くことができる。そこで、形態によって異なる味わいや合唱の

美しい響きを味わえるようにする。

これらの活動を通して、子供たちは声を重ねることのよさを味わい、合唱表現への興味・関心を高め、和声の響きを感じ取って表現しようとする態度を養うことができる。

### (3) 子供の実態 (調査対象 5年〇組 40人)

① あなたは、みんなで合唱をするのは楽しいですか。 はい (36人) いいえ (4人)			
② その理由を教えてください。			
<table border="1"><tr><td><b>【はい】</b> ・きれいだから (15人) ・みんなで合わせて歌うから (9人) ・ちがうパートを歌うから (5人) ・声が重なり合うから (3人) ・曲の感じが変わるから (2人) ・その他 (2人)</td><td><b>【いいえ】</b> ・むずかしいから (2人) ・わからなくなるから (2人)</td></tr></table>	<b>【はい】</b> ・きれいだから (15人) ・みんなで合わせて歌うから (9人) ・ちがうパートを歌うから (5人) ・声が重なり合うから (3人) ・曲の感じが変わるから (2人) ・その他 (2人)	<b>【いいえ】</b> ・むずかしいから (2人) ・わからなくなるから (2人)	
<b>【はい】</b> ・きれいだから (15人) ・みんなで合わせて歌うから (9人) ・ちがうパートを歌うから (5人) ・声が重なり合うから (3人) ・曲の感じが変わるから (2人) ・その他 (2人)	<b>【いいえ】</b> ・むずかしいから (2人) ・わからなくなるから (2人)		
③ 合唱をするときに、どんなことに気を付けていますか。			
<table border="1"><tr><td>・つられないように音程を合わせる (24人) ・ちがうパートの声をききながら歌う (4人) ・音量のバランスに気を付ける (4人)</td><td>・口を開けて歌う (3人) ・その他 (3人) ・わからない (2人)</td></tr></table>	・つられないように音程を合わせる (24人) ・ちがうパートの声をききながら歌う (4人) ・音量のバランスに気を付ける (4人)	・口を開けて歌う (3人) ・その他 (3人) ・わからない (2人)	
・つられないように音程を合わせる (24人) ・ちがうパートの声をききながら歌う (4人) ・音量のバランスに気を付ける (4人)	・口を開けて歌う (3人) ・その他 (3人) ・わからない (2人)		
④ 「はじめましょう」をカデンツ (四部) で歌ってみましょう。			
<table border="1"><tr><td><input type="radio"/> 正しい音程で、よく響く声で歌える (10人) <input type="radio"/> 正しい音程で歌える (24人) <input type="radio"/> 他のパートにつられてしまう、正しく歌えない (6人)</td></tr></table>	<input type="radio"/> 正しい音程で、よく響く声で歌える (10人) <input type="radio"/> 正しい音程で歌える (24人) <input type="radio"/> 他のパートにつられてしまう、正しく歌えない (6人)		
<input type="radio"/> 正しい音程で、よく響く声で歌える (10人) <input type="radio"/> 正しい音程で歌える (24人) <input type="radio"/> 他のパートにつられてしまう、正しく歌えない (6人)			

①②から、多くの子供たちが合唱をするのは楽しいと答えている。しかし4人の子供たちが合唱することに困難を感じている。そこで、子供たちに個別にかかわり、正しい音程や響きのある声で歌えるようになるまでのがんばりを称賛して、合唱することのよさや楽しさを味わわせる必要がある。

③から、音程を合わせることに意識の向いている子供は多いが、音量のバランスに気を付けるために聴き合うことや、歌詞の様子や曲想を生かして歌うことを意識している子供もが少ない。そこで、音量のバランスについて考えさせたり、歌詞や曲想に着目させるような活動を取り入れたりする必要がある。

④から、正しい音程で歌える子供は多いが、響く歌声のポイントをつかんでいない子供が半数以上おり、音程のとれない子供もいる。また、歌い方を見ていると、口形や姿勢、発音など基本的なことを意識している子供は半数程度である。そこで、周りの声をよく聴くことや、発声のポイントをつかむことを指導していく必要がある。

### (4) 指導上の留意点

以上のことを踏まえ、指導に当たっては次のようなことに留意したい。

ア 声の重なりによる響きを感じ取って表現する楽しさを味わえるようにするために、階名唱による三度や五度の重なり遊びや、歌詞を変えた I-IV-I-V-I のカデンツに取り組みせ、声が重なったときの心地よさを味わえるようにする。

イ より練り上げられた合唱表現にしていくために、2グループ同士で演奏を聴き合う活動を通して、パートの音量のバランスに気を付けさせたり、星空を見た経験について話し合う活動を通して、大切な歌詞や旋律の盛り上がりに着目させたりする。

ウ 各声部を正しい音程で、響きのある声で歌うことができるようにするために、声部ごとに音取りができ、発声のポイントを掲示した「学習の広場」を設け、同じパートで声をよくそろえて歌うことができるようにする。

### 3 目標

- (1) 発声に気を付け、豊かな響きの歌声で合唱することができる。【知識及び技能】
- (2) 声の重なり合う響きを感じ取り、音量のバランスや、歌詞や曲想を生かした歌い方を工夫することができる。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 合唱の響きの美しさに関心を持ち、各声部の音程が正しく響き合っているかを振り返りながら、合唱の活動に取り組むことができる。【学びに向かう力、人間性等】

### 4 指導計画（全8時間）

過程	時	教材	主な学習活動	教師の働きかけ	
課題把握	1	「星の世界」	<p>星空の様子を思いうかべて歌おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 斉唱の範唱を聴いて、感じたことを話し合う。</li> <li>○ 美しい星空の様子の写真や、VTRをみて、様子を思い浮かべて歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ イメージ豊かに歌う楽しさを味わうことができるようにするために、星空を見たときの思い出を発表させるようにする。</li> <li>○ 美しい歌声にするために、姿勢や口の開け方、言葉の発音の仕方に気を付けさせる。</li> <li>○ 三部合唱への意欲を高めるために、前時に聴いた斉唱の範唱と聴き比べ、違いに気付かせるようにする。</li> <li>○ 正しい音程で歌うことができるようにするために、声部ごとに「学習の広場」を設定する。</li> <li>○ 自分たちの合唱の高まりを実感できるようにするために、全体を二つのグループに分けて、聴き合う活動を取り入れるようにする。</li> <li>○ 自分たちの演奏が評価できるように、演奏を録音する。</li> <li>○ よりよい合唱に練り上げていくために、音量のバランスと曲の山に気を付けて演奏したもの、そうでないものを聴き比べるようにする。</li> <li>○ 選択曲は子供の発達段階を考慮し、次のような観点で準備する。</li> </ul> <p>【形態】多様な合唱の響きを味わうことができるような二部合唱または簡単な三部合唱の曲</p> <p>【内容】子供たちが興味をもつような曲、子供たちが知っている曲</p> <p>【技能】音程がとりやすい曲</p>	
課題追求Ⅰ			<p>音程に気を付けながら、他のパートを歌おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合唱の範唱を聴いて、感じたことを話し合う。</li> <li>○ 「学習の広場」で、中声部と低声部の練習をする。</li> </ul>		
課題追求Ⅱ	2		<p>音程に気を付けて、きれいなひびきの三部合唱をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体を三つのグループに分け、声部ごとに「学習の広場」で練習する。</li> <li>○ お互いの演奏を聴き合い、よかったところや、もっと工夫したらよくなることを発表し合う。</li> </ul>		
	3（本時）		<p>三部合唱のバランスや、曲の山に気を付けて合唱しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三声のバランスがとれ、曲の山のついた合唱と、そうでない合唱を比較鑑賞し、よりよい合唱の作り方について話し合う。</li> <li>○ グループごとに練習し、相互発表する。</li> </ul>		
課題追求Ⅲ	4		<p>好きな曲を選んで合唱しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ どの曲を選ぶか話し合い、グループをつくる。</li> <li>○ グループごとに工夫するところを話し合う。</li> <li>○ グループごとに合唱の練習をする。</li> <li>○ グループごとの発表を聴き、意見交換をする。</li> </ul>		
	5		滝廉太郎の歌曲		<p>大人の声のひびきや、合唱の種類に気を付けてきこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「荒城の月」や「箱根八里」を、いろいろな形態の合唱で聴く。</li> <li>○ それぞれの合唱で気付いたことや感じたことを話し合う。</li> </ul>
	6				
7					
課題把握	8				
まとめ					

## 5 本時(3/8)

### (1) 目標

- ア 他の声部との声の響き合いに気を付けながら、三部合唱することができる。【知識及び技能】  
 イ 合唱の響きに関心を持ち、進んで合唱の活動に取り組むことができる。

【学びに向かう力、人間性等】

### (2) 本時の展開に当たって

子供たちがそれぞれのパートを正しい音程で歌えるようにするために、声部ごとの「学習の広場」をつくり、練習できるような場を設定する。また、自分たちの合唱の高まりを実感できるようにするために、全体を二つのグループに分け、相互発表の活動を取り入れるようにする。

### (3) 実際

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
課題把握	1 「星の世界」を三部合唱し、本時の学習について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">音程に気を付けて、きれいなひびきの三部合唱をしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まだ自分のパートの音がよくわからないな。</li> <li>・ 星空のようなきれいな声で歌いたいな。</li> </ul>	(分) 10	○ 本時の学習の課題を明確にさせるために、前の時間でうまくできなかったことや、録音を聴いた感想を発表させるようにする。 ○ 本時での活動を焦点化するために「音程に気を付けるためにどうすればいいかな。」「きれいな響きをつくるためにどうすればいいかな。」などと問いかけるようにする。
課題追求	2 声部ごとに分かれて、「学習の広場」で練習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①パート…右のキーボード</li> <li>・ ②パート…前のピアノ</li> <li>・ ③パート…後ろのキーボード</li> </ul> 3 みんなで合わせて三部合唱の練習をする。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 全体で練習する。</li> <li>(2) 全体を二つのグループに分け、練習をする。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A班…右側に並んで</li> <li>・ B班…左側に並んで</li> </ul>	30	○ 自分のパートを正しい音程で歌えるようにするために、声部ごとに音程を確かめながら練習できる「学習の広場」をつくり、練習できるようにする。その際、練習がスムーズにいくように全体を三つのパートに分けておくようにする。 ○ 子供たちが主体的に学習を進められるようにするために、自動伴奏キーボードを準備しておく。 ○ 子供たちの技能を見取るために、自動伴奏を流しながら三部合唱させ、教師は個別に指導する。
相互発表・鑑賞	4 グループごとに発表する。		○ 自分たちの合唱の高まりを実感できるようにするために、全体を二つのグループに分け、他のパートと合わせて歌う活動を取り入れる。
まとめ	5 学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三つのパートの音程のちがいに気を付けて歌えるようになりました。</li> <li>・ 星空のようなきれいな声で歌えるように気を付けました。</li> </ul>	5	○ 次時への学習に生かすために、本時でできるようになったことや、もっとがんばりたいところを発表させ、意欲面を見取るようにする。